平成２８年度学校評価

学校評価とは、生徒たちがより良い教育を享受できるよう、その教育活動等の成果を検証し、学校運営の改善と発展を目指すための取組です。

学校評価の方法には、本校教職員による自己評価と、保護者、地域住民等の学校関係者などにより構成された委員会等において、自己評価の結果について評価する学校関係者評価があります。

また学校評価の結果は、ホームページで公表することで、地域に開かれた学校づくりを一層推進していくことを目指しています。

自己評価

自己評価実施方法

学校経営の重点に基づいて作成した評価項目について、本校教職員による自己評価（Ａ達成できた Ｂおおむね達成できた Ｃあまり達成できていない Ｄ達成できていない）を行い、次のように換算を行い数値化しました。

Ａ＝４点、Ｂ＝３点、Ｃ＝２点、Ｄ＝１点

教職員４７人中、４６人が回答し、全回答の平均は3.05でした。

評価について、右側に 3.2以上 ◎　3～3.2 ○　2.8～3 無印　～2.8△ で表しています。

	日々の授業の充実	**3.02**	○
重点目標	授業研究の推進	3.04	○
重点目標	生徒の意欲を高める方法の研究	3.04	○
	生徒への励ましと生徒理解	**3.13**	○
重点目標	様々な場面での自己有用感・自尊心を高める	3.11	○
重点目標	多様な生徒に丁寧に対応する技術の研究と実践	3.11	○
	教員の資質向上と「いきがいの創造」	**3.09**	○
重点目標	信頼される存在から尊敬される存在へ	3.04	○
重点目標	良質な職員室文化を創造する	3.24	◎
重点目標	個業から協働へ	3.00	○
	研究課題	**3.02**	○
重点目標	学力向上の取組と特色化	2.98	
重点目標	心のサポート事業を通した生徒理解を深める方法	3.22	◎
重点目標	２０年後まできれいな学校をのこす	2.93	

学校関係者評価

保護者、地域の方がメンバーとなっておられる、学校評議員会で自己評価の結果について意見をいただいています。

・　教職を天職と考える部分と労働と考える部分のバランスをとり、IT を駆使するなど、教職員の健康維持のために業務負担を軽減することを検討してほしい。

・　自己評価は甘い傾向にあると思う。しかし、若い先生は夜間補導等にも労を惜しまず頑張っている。若い先生方が初任５年以内でしっかりと指導技術を身につけることができるよう、中堅教員がリーダーシップを発揮して欲しい。

・　以前と比較すると生徒も先生方も丸くなったが、人間関係が希薄になったように感じる。決して先生が生徒を押さえつけているとは思わないが、生徒と先生との人間的な繋がりを大切する指導をお願いしたい。

・校内の掃除をもう少し頑張って綺麗な校舎を維持して欲しい。